

セッコク *Dendrobium moniliforme* (L.) Sw.

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 1、総点 11。着生性のラン科植物で、園芸目的の採取により減少している。

【形態】

常緑性の多年生草本。根茎はごく短い。地上茎は束生し、円柱形、高さ 5~25cm になり、数年残存するが古いものには葉がない。葉は数個が互生し、披針形、長さ 4~7cm、幅 7~15mm、やや光沢があり、先端は鈍頭、基部は鞘となって茎を包む。花期は 5~6 月、花は古い茎の上部の節に 1~2 個つき、白色またはわずかに淡紅色を帯び、苞は楕円形、長さ 2~2.5mm である。背がく片は披針形、長さ 2~2.5cm、鋭頭、側がく片はやや幅広く、基部が斜めに広がり距状となり、側花弁は背がく片と同形でやや短い。唇弁は卵状長三角形、側花弁とほぼ同長である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (加藤等次 4414, 1994-5-8)、6 設楽西部 (小林 44090, 1993-6-12)、7 設楽東部 (芹沢 82060, 2007-8-18)、8 鳳来北東部 (芹沢 85161, 2009-10-10)、11 作手 (小林 52473, 1994-7-3)、12 新城 (小林 55911, 1995-3-4)、24 豊田東部 (山崎玲子 2673, 2002-6-8)、28 額田 (原田 勉 422, 1994-10-23)。尾：45 犬山 (芹沢 53764, 1989-10-6)。

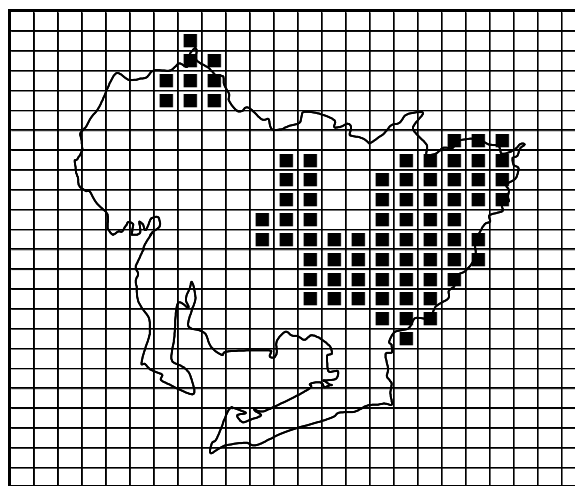
【国内の分布】

本州、四国、九州、琉球に生育する。

【世界の分布】

日本、台湾、朝鮮半島南部、中国大陸に分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

岩上や樹上に着生する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

東三河の山地には点在するが、手が届く範囲のものはほとんど園芸目的で採取されてなくなっている。台風の後などに多量に落下していることがあるので、急峻な地形の場所や高い木の上にはまだかなり残存していると思われる。しかし、そのような場所のものは夏の乾燥化の影響を受けやすく、その点で衰退が懸念される。西三河と尾張では、偶然発見されたという程度の頻度で生育しているだけである。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

和名は、漢名の音読みである。

【関連文献】

保草本Ⅲp.61, 平草本 I p.231, 平新版 1 p.196.